

5 対策

Q-51 フラットデッキを使った場合の結露対策としてはどのような方法があるか？

A

フラットデッキは材質的に湿気を通さず吸湿も放湿もしないので、デッキ表面に結露水が水滴となり、見掛け上表面結露が目立ちやすい工法ですが、結露発生としては在来 RC スラブにも起こる現象です。

なお、在来 RC スラブの場合、コンクリートスラブ表面が吸湿しやすく、結露するとかびの発生が目立って問題になるケースがありますが、フラットデッキを使用した工法は吸湿性がなく、表面にかびが発生しにくい工法といえます。

対策；在来 RC スラブと同様下記の点に留意する必要があります。

- 1) 壁体および屋根スラブの断熱性を高くする。
- 2) 室内の換気を行う。
- 3) 室内の水蒸気の発生を押さえる。
- 4) フラットデッキの下面に硬質ウレタンフォーム等の断熱材を吹付ける。
- 5) インサートはプラスチック製品とする。

結露防止用断熱材の納まり例として、独立行政法人 都市再生機構（略：UR 都市再生機構）採用の屋上断熱防水工法（USD 工法）があります。

屋上部

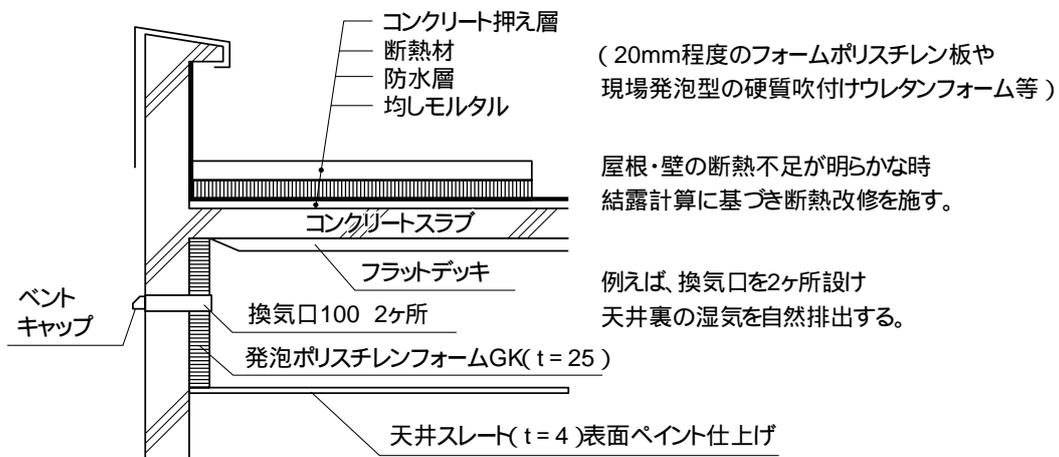


図 - 1 納まり例

外壁付近（寒冷地仕様）

寒冷地 RC 造の集合住宅の施工例としては図 - 2 を参考とします。

構造上熱橋となる部分の断熱補強

- 1) 発泡ポリスチレン板などボード状の断熱材を張り付ける。
- 2) 硬質ウレタンフォームを現場発泡で吹き付ける。
- 3) コンクリートの打設時の型枠に断熱材をあらかじめ取付けておく。

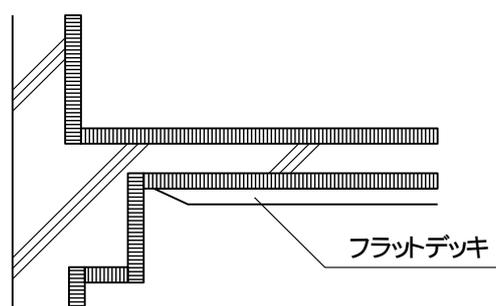


図 - 2 RC 造 集合住宅